

コントロール・アタック～略称：コンタック～

既に得点シートに入っている
相手チームのボールを、自分
のボールを当てて外に出すこ
ともOK!

コントロール・アタックとは？

コントロール・アタックは、平成16（2004）年に栃木県障害者スポーツ協会職員の「菅谷薫氏」と「小金沢茂氏」がボッチャを参考に、子供から高齢者まで、性別や障害の有無、運動能力に関わらず誰もが参加できて、自分らしく挑戦することができる競技として研究・開発したインクルーシブスポーツです。地域におけるスポーツ教室等で紹介し、“コン・タック”の愛称で親しまれ、県内各地に普及しました。

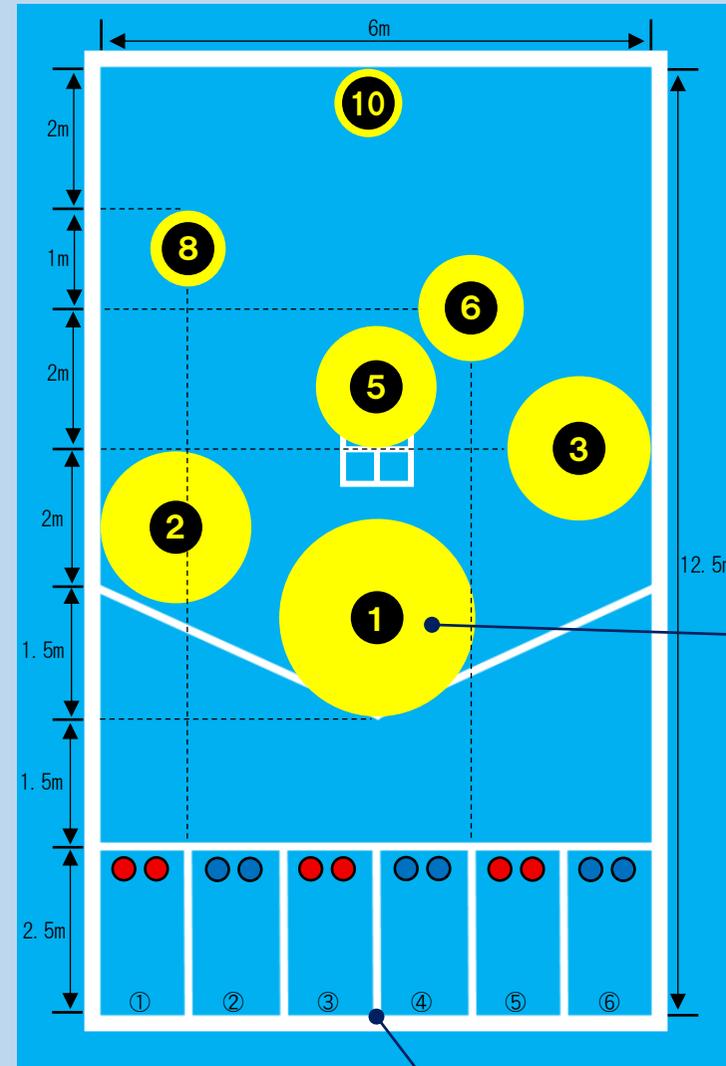
その後、平成21（2009）年に「第1回栃木県障害者コントロール・アタック大会」を開催し、毎年約100名の選手が参加する大会へと成長しました。コン・タック大会は、令和6

（2024）年の第16回大会から競技を目的としたファイティング部門、交流を目的としたフレンドシップ部門を設け、障害の有無を問わず、多くの方に親しまれております。



試合の流れ（団体戦の場合）

- 赤3人と青3人のチームに別れて、各選手2個ずつボールを持ちます。赤ボールが先攻で、赤はスローイングボックス①・③・⑤、青は②・④・⑥でプレーします
- スローイングボックス①から順に、赤・青交互に一人1個ずつ、任意の得点シート目掛けて投げ入れます
- 1ゲームは3セット行い、得点シートに入った合計得点により勝敗を決めます



得点シート

1点・2点・3点・5点・6点・8点・10点があります。
投げ入れたボールのいずれかの部分が得点シートに触れていればその得点を得ることができます。

スローイングボックス

お問い合わせは/
当協会HPへ/

